

町内の園芸用ビニールハウス



■園芸用ハウス整備事業  
△1億2463万円  
園芸用ハウス整備事業の  
費補助金など各種事業の  
精算による。

■デマンドバス等実証運行委託 △469万円

Q 宮地 葉子議員

今後、必要な予算であると考えるが、この減額の理由は。

A 西村 企画調整室長

蜷川地区、湊川地区のエリアデマンドバスの運行については、ドライバリの不足により調整がつかず、今回、減額ということになった。

■ふるさと納税寄付金謝礼費用 △4577万円  
年末のふるさと納税寄付金が、見込みほど伸びず、9億円から、7億円に下方修正したことなどによる減額。



ふるさと納税返礼品の一例

## 繰越明許費補正

繰越明許費は、強い農業・担い手づくり総合支援事業や避難道整備事業を行う緊急防災・減災事業、また災害復旧事業など20事業を追加し、地元及び関係機関との調整をし、整備する都市防災総合推進事業などを変更して、総額8億3073万円とした。

### 主な繰越明許費

■強い農業・担い手づくり総合支援事業

6966万円

■道路新設改良事業

2億250万円

低コスト耐候性ハウス建設について、計画承認から事業完成までの期間が短いため繰り越すもの。

■定住促進住宅整備事業

1億4186万円

■緊急防災・減災事業

7578万円

空き家所有者との調整契約に時間を要したことによるもの。

避難道整備、木造住宅耐震改修促進事業補助金等について、年度内完了が見込めなくなったため繰り越すもの。

■都市計画費の都市防災総合推進事業

8001万円

■GIGAスクール事業(教育)

9449万円

地元および関係機関との調整に時間を要したことによるもの。

国の補正予算により、今回計上して繰り越すもの。



満開の桜の下、健康づくりウォーキング (田野浦の観音さん)